

犬養 孝

大久間喜一郎

編集顧問 五味智英

編集 森 淳司

小島憲之

針原孝之

万葉集歌人事典

雄山閣

昭和三十五年七月三十日 初版發行
昭和四十七年十月一日 七版發行

八代集全註(第三卷)

編者 山岸徳平

發行者 東京都千代田區神田神保町一ノ三九
山崎誠

印刷者 株式會社 文弘社
東京都千代田區飯田橋二ノ十四ノ一
堀正弘

製本者 東京都文京區小石川三ノ二一ノ六
誠光社製本印刷株式會社



發行所

東京都千代田區神田神保町一ノ三九番地
振替口座東京四〇六八四番

有精堂出版株式會社

落丁・贈丁はお取替いたします。

3092-760130-8610

八代集索引

凡 例

一、本書所載の全歌の初句を、五十音順に排列した。

一、初句が同じ場合には、二句目迄を入れた。

一、初句及び二句の下には、各歌それぞれの所載歌集名を、左の如く（ ）内に入れた。

（古）古今集 （後）後撰集 （拾）拾遺集 （拾抄）拾遺抄

（後拾）後拾遺集 （金）金葉集 （初金）初奏本 （二金）二度本

（三金）三奏本 （詞）詞花集 （千）千載集 （新古）新古今集

（藤）藤六集

一、下段の上下及び數字は、それぞれ本書の卷數及び頁類を示したものである。第一句以外で檢出する場合は、國歌大觀によつて各歌の番號を求めればよいようにした。

凡 例

一、万葉集にみられる人名・神名・伝承上の人物などを掲げ、見出し語とした。ただし藤原氏関係は姓を補ったものがある。

一、見出し語の配列は現代かなづかいによる五十音順とした。

一、見出し語は、その人物の代表的呼称を掲げ、「表記」に見出し語以外の呼称、および呼称一般について記した。

一、各人物ごとに「表記」「系譜」「閏歴」「歌風」「影響」「歌数」の順で解説した。

一、「歌数」「所在」の巻数は算用数字で、『国歌大観』による歌番号は漢数字で示した。

一、その人物の作品である場合は歌番号を記し、標目、題詞、題詞の細注、序文、左注である場合は歌番号の後に記した。

一、歌には旧かな、解説文には現代かなづかいで読みがなをつけた箇所もある。

一、出典に対してつぎのような略称を用いた。

万葉集注釈（沢瀉久孝）↓注釈

万葉集全註釈（武田祐吉）↓全註釈

万葉集私注（土屋文明）↓私注

日本書紀↓書紀

続日本紀↓続紀

目 次

緒 言.....一

凡 例.....三

作者・作中人物.....三

あ

阿氏奥島（あうじのおきしま）.....三

県犬養娘子（あがたのいぬかいのおとめ）.....三

県犬養宿禰浄人（あがたのいぬかいのすくねきよ
ひと）.....三

県犬養宿禰人上（あがたのいぬかいのすくねひと
かみ）.....三

県犬養宿禰三千代（あがたのいぬかいのすくねみ
ちよ）.....四

県犬養宿禰持男（あがたのいぬかいのすくねもち
お）.....四

県犬養宿禰吉男（あがたのいぬかいのすくねよし
お）.....四

安貴王（あきのおおきみ）.....四

商長首麻呂（あきのおさのおびとまろ）.....五

安積皇子（あさかのみこ）.....五

朝倉益人（あさくらのみすひと）.....六

麻田連陽春（あさたのむらじやす）.....六

葦屋処女（あしのやのおとめ）.....六

飛鳥壮士（あすかおとこ）.....七

明日香皇女（あすかのひめみこ）.....七

安宿王（あすかべのおおきみ）.....七

安宿奈杵麻呂（あすかべのなとまろ）.....九

阿須波乃可美（あすはのかみ）	九
安曇外命婦（あずみのげみょうぶ）	九
安曇宿禰三國（あずみのすくねみくに）	九
厚見王（あつみのおおきみ）	九
安都宿禰年足（あとのすくねとしたり）	一〇
安都扉娘（あとのとびらのおとめ）	一〇
安努君広島（あなのきみひろしま）	一〇
阿倍朝臣（あべのおそみ）	一一
阿倍朝臣老人（あべのおそみおきな）	一一
阿倍朝臣老人母（あべのおそみおきなのはは）	一一
阿倍朝臣奥道（あべのおそみおきなち）	一二
阿倍朝臣子祖父（あべのおそみこおおじ）	一二
阿倍朝臣沙彌麻呂（あべのおそみさみまる）	一二
阿倍朝臣継麻呂（あべのおそみつぎまる）	一三
阿倍朝臣豊継（あべのおそみとよつぐ）	一三
阿倍朝臣広庭（あべのおそみひろにわ）	一三
阿倍朝臣虫麻呂（あべのおそみむしまる）	一四
阿部女郎（あべのいらつめ）	一四
阿倍大夫（あべのまえつきみ）	一五
天照日女之命（あまてらすひるめのみこと）	一五
海犬養宿禰阿麻呂（あまのいぬかいのすくねおか まろ）	一七
天之探女（あまのさぐめ）	一七

尼某（あまのそれがし）	一七
荒氏稲布（あらうじのいなしき）	一七
荒雄（あらお）	一八
有間皇子（ありまのみこ）	一八
粟田女王（あわたのおおきみ）	一三
粟田女娘子（あわためのおとめ）	一三
粟田大夫（あわたのまえつきみ）	一三

い

奄君諸立（いおりのきみもろたち）	一三
軍王（いくさのおおきみ）	一三
生玉部足国（いくたまべのたり（る）くに）	一四
池田朝臣某（いけだのおそみそれがし）	一四
池辺王（いけべのおおきみ）	一五
石井手児（いしいのてこ）	一五
石川朝臣老夫（いしかわのおそみおきな）	一五
石川朝臣君子（いしかわのおそみきこ）	一五
石川朝臣足人（いしかわのおそみたるひと）	一六
石川朝臣年足（いしかわのおそみとしたり）	一六
石川朝臣広成（いしかわのおそみひろなり）	一六
石川朝臣水通（いしかわのおそみみち）	一六
石川郎女（いしかわのいらつめ）	一七
石川女郎（いしかわのいらつめ）	一七

石川邑婆（いしかわのおおば）……………	六
石川賀係女郎（いしかわのかけのいらつめ）……………	元
石川夫人（いしかわのぶにん）……………	元
石川大夫（いしかわのまえつきみ）……………	元
石川卿（いしかわのまえつきみ）……………	元
磯氏法麻呂（いそうじのりまろ）……………	三
石上朝臣乙麻呂（いそのかみのあそみおとまろ）……………	三
石上朝臣堅魚（いそのかみのあそみかつお）……………	三
石上朝臣麻呂（いそのかみのあそみまろ）……………	三
石上卿（いそのかみのまえつきみ）……………	三
石上大夫（いそのかみのまえつきみ）……………	三
石上朝臣宅嗣（いそのかみのあそみやかつぐ）……………	三
板氏安麻呂（いたうじのやすまろ）……………	三
市原王（いちはらのおおきみ）……………	三
出雲娘子（いづものおとめ）……………	三
稲寸丁女（いなきおとめ）……………	三
因幡八上采女（いなばのやかみのうねめ）……………	三
井戸王（いのへのおおきみ）……………	三
伊保麻呂（いはまろ）……………	三
今奉部与曾布（いままつりべのよそふ）……………	三
忌部首（いみべのおびと）……………	三
忌部首黒麻呂（いみべのおびとくろまろ）……………	三
伊夜彦（いやひこ）……………	七

石田王（いわたのおおきみ）……………	七
磐姫皇后（いわのひめのおおきさき）……………	七
磐余忌寸諸君（いわれのいみきもろさき）……………	一
允恭天皇（いんぎょうてんのう）……………	一
う	
宇治若郎子（うじのわきいらつこ）……………	三
宇遲部黒女（うじべのくろめ）……………	三
有度部牛麻呂（うとべのうしまろ）……………	三
菟原壮士（うないおとこ）……………	三
菟原処女（うないおとめ）……………	三
海上女王（うなかみのおおきみ）……………	三
宇努首黒人（うののおびとおひと）……………	三
右兵衛（うひょうえ）……………	三
味稻（うましね）……………	三
馬史国人（うまのふひとくにひと）……………	三
茨田王（うまらだのおおきみ）……………	三
茨田連沙彌麻呂（うまらだのむらじさみまろ）……………	三
占部小龍（うらべのおたつ）……………	三
占部広方（うらべのひろかた）……………	三
占部虫麻呂（うらべのむしまろ）……………	三

え

恵行（えぎょう）……………	四
役民（えだちのたま）……………	四
縁達（えにたち）……………	四
榎井王（えのいのおおきみ）……………	四
榎氏鉢麻呂（えのうじのはちまろ）……………	四
槐本（えのもと）……………	四

お

生石村主真人（おいしのすくりまひと）……………	四
生部道麻呂（おうしべのみちまろ）……………	四
淡海真人三船（おうみのまひとみふね）……………	四
大綱公人主（おおあみのきみひとぬし）……………	四
大石裘麻呂（おおいしのみのまろ）……………	四
大使之第二男（おおきつかいのおとこ）……………	四
大伯皇女（おおくのひめみこ）……………	四
大来目主（おおくめぬし）……………	四
大蔵忌寸麻呂（おおくらのみきまろ）……………	四
大田部荒耳（おおたべのあらみみ）……………	四
大田部足人（おおたべのたりひと）……………	四
大田部三成（おおたべのみなり）……………	四
邑知王（おおちのおおきみ）……………	四

大津皇子（おおつのみこ）……………	三
大舍人部千文（おおとねりべのちふみ）……………	三
大舍人部禰麻呂（おおとねりべのねまろ）……………	三
大伴女郎（おおとものいらつめ）……………	三
大伴郎女（おおとものいらつめ）……………	三
大伴君熊凝（おおとものきみくまこり）……………	三
大伴清繩（おおとものきよなわ）……………	三
大伴坂上郎女（おおとものさかのうえのいらつめ）……………	三
大伴坂上大嬢（おおとものさかのうえのおおい らつめ）……………	三
大伴佐堤比古郎子（おおとものさでひこのいら つこ）……………	三
大伴宿禰東大（おおとものすくねあずまひと）……………	六
大伴宿禰池主（おおとものすくねいけぬし）……………	六
大伴宿禰稻君（おおとものすくねいなきみ）……………	六
大伴宿禰牛養（おおとものすくねうしかい）……………	六
大伴宿禰像見（おおとものすくねかたみ）……………	六
大伴宿禰清繼（おおとものすくねきよつぐ）……………	六
大伴宿禰黒麻呂（おおとものすくねくろまろ）……………	六
大伴宿禰古慈悲（おおとものすくねこじひ）……………	六
大伴宿禰胡麻呂（おおとものすくねこまろ）……………	六
大伴宿禰宿奈麻呂（おおとものすくねすくなまろ）……………	七

大伴宿禰駿河麻呂（おおとものすくねするがまろ）	七
大伴宿禰田主（おおとものすくねたぬし）	七
大伴宿禰旅人（おおとものすくねたびと）	七
大伴宿禰千室（おおとものすくねちむろ）	七
大伴宿禰書持（おおとものすくねふみもち）	七
大伴宿禰道足（おおとものすくねみちたり）	七
大伴宿禰三三（おおとものすくねみなか）	七
大伴宿禰三三（おおとものすくねみなか）	七
大伴宿禰三三（おおとものすくねみなか）	七
大伴宿禰御行（おおとものすくねみゆき）	八
大伴宿禰三依（おおとものすくねみより）	八
大伴宿禰村上（おおとものすくねむらかみ）	八
大伴宿禰百代（おおとものすくねもよ）	八
大伴宿禰家持（おおとものすくねやかもち）	八
大伴宿禰家持妹（おおとものすくねやかもちのい ろと）	八
大伴宿禰家持亡妾（おおとものすくねやかもちの みまかりしおみなめ）	八
大伴田村大嬢（おおとものたむらのおおいらつめ）	八
大伴利上（おおとものとしかみ）	八
大伴連長徳（おおとものむらじながとこ）	八
大伴安麻呂（おおとものやすまろ）	九
大伴四綱（おおとものよつな）	九
大伴大夫（おおとものまえつきみ）	九

大伴部少藏（おおともべのおとし）	九
大伴部小羊（おおともべのこひつじ）	九
大伴部広成（おおともべのひろなり）	九
大伴部節麻呂（おおともべのふしまろ）	九
大伴部真足女（おおともべのまたりめ）	九
大伴部麻与佐（おおともべのまよさ）	九
大汝（おおなむち）	九
太朝臣徳太理（おおのあそみとことたり）	九
大原真人今城（おおはらのまひといまき）	九
大原真人桜井（おおはらのまひとさくらい）	九
大原真人高安（おおはらのまひとたかやす）	九
大神朝臣奥守（おおみわのあそみおきもり）	九
大神女郎（おおみわのいらつめ）	九
大宅女（おおやけめ）	九
岡本天皇（おかもとのすめらみこと）	九
置始東人（おきそめのあずまひと）	九
置始連長谷（おきそめのむらじはつせ）	九
息長足日女命（おきながたらしひめのみこと）	九
乎久佐乎（おくさお）	九
乎具佐受家乎（おぐさすけお）	九
息長真人国嶋（おきながのまひとくにしま）	九
憶良大夫之男（おくらまのまえつきみのこ）	九
忍坂王（おさかのおおきみ）	九

刑部直千国（おさかべのあたいちくに）	102	弟日娘（おとひおとめ）	107
刑部直三野（おさかべのあたいまの）	102	娘子（おとめ）	107
忍坂部乙麻呂（おさかべのおとまろ）	102	娘子（おとめ）	107
刑部志加麻呂（おさかべのしかまろ）	103	娘子（おとめ）	107
刑部垂麻呂（おさかべのたりまろ）	103	娘子（おとめ）	107
忍壁皇子（おさかべのみこ）	103	娘子（おとめ）	107
刑部虫麻呂（おさかべのむしまろ）	103	娘子（おとめ）	107
他田舎人大島（おさだのとねりおおしま）	103	娘子（おとめ）	107
他田日奉直得大理（おさだのひまつりのあたいと こだり）	103	童女（おとめ）	107
他田広津娘子（おさだのひろつのおとめ）	103	娘子（おとめ）	107
他田部子磐前（おさたべのこいわさき）	103	娘（おとめ）	107
忍海部五百麻呂（おしぬみべのいおまろ）	103	娘子（おとめ）	107
小鯛王（おだいのおおきみ）	104	娘子（おとめ）	107
小田朝臣諸人（おだのあそみもろひと）	105	娘子（おとめ）	107
小田王（おだのおおきみ）	105	娘子（おとめ）	107
小田事（おだのつかう）	105	娘子（おとめ）	107
男（おとこ）	105	娘子（おとめ）	107
壮士（おとこ）	106	小野朝臣老（おののあそみおゆ）	107
壮士（おとこ）	106	小野朝臣綱手（おののあそみつなて）	107
壮士（おとこ）	106	小野氏国堅（おのうじのくにかた）	107
壮士（おとこ）	106	小野氏淡理（おのうじのたもり）	107
壮士（おとこ）	106	小長谷部笠麻呂（おはつせべのかさまろ）	107

麻績王（おみのおおきみ）……………	一一
小治田朝臣東麻呂（おわりだのあそみあずまろ）……………	一二
小治田朝臣広耳（おわりだのあそみひろみ）……………	一三
小治田朝臣諸人（おわりだのあそみろひと）……………	一三
小治田広瀬王（おわりだのひろせのおおきみ）……………	一三
尾張少昨（おわりのおくい）……………	一三
尾張連（おわりのむらじ）……………	一四

か

鏡王女（かがみのおおきみ）……………	一四
柿本朝臣人麻呂（かきのもとのおそみひとまろ）……………	一七
柿本人麻呂妻（かきのもとのおひとまろのつま）……………	一三
楽広（かくこう）……………	一三
笠縫女王（かさぬいのおおきみ）……………	一三
笠朝臣金村（かさのあそみかなむら）……………	一三
笠朝臣子君（かさのあそみこきみ）……………	一六
笠女郎（かさのいらつめ）……………	一七
鹿島神（かしまのかみ）……………	一八
膳王（かしわでのおおきみ）……………	一三
奉膳（かしわでのかみ）……………	一三
春日王(1)（かすがのおおきみ）……………	一三
春日王(2)（かすがのおおきみ）……………	一三
春日藏首老（かすがのくらのおびとおゆ）……………	一三

春日部麻呂（かすがべのまろ）……………	一三
纒児（かづらこ）……………	一三
華他（かた）……………	一三
葛稚川（かつちせん）……………	一三
葛城王（かつらぎのおおきみ）……………	一三
葛木之其津彦（かつらぎのそつひこ）……………	一三
門部王(1)（かどべのおおきみ）……………	一四
門部王(2)（かどべのおおきみ）……………	一四
門部連石足（かどべのむらじいそたり）……………	一五
可刀利乎登女（かとりおとめ）……………	一五
鎌麻呂（かまろ）……………	一五
神社忌寸老麻呂（かみこそのおきおゆまろ）……………	一五
上毛野牛甘（かみつけのうしかい）……………	一五
上毛野君駿河（かみつけののきみするが）……………	一五
上道王（かみつみちのおおきみ）……………	一五
上古麻呂（かみのふるまろ）……………	一六
神麻績部嶋麻呂（かむおみべのしまろ）……………	一六
神人部子忍男（かむとべのおしお）……………	一七
巫部麻蘇娘子（かむなぎべのまそおとめ）……………	一七
甘奈備伊香真人（かむなびのいかごのまひと）……………	一七
蒲生娘子（がもうのおとめ）……………	一七
賀茂女王（かものおおきみ）……………	一七
鳴君足人（かものきみたるひと）……………	一八

川上臣老（かわかみのおみおゆ）	一三
川島皇子（かわしまのみこ）	一三
河内王（かわちのおおきみ）	一三
河内女王（かわちのおおきみ）	一三
河内百枝娘子（かわちのもえのおとめ）	一三
河内女（かわちめ）	一三
川原（かはら）	一三
川原虫麻呂（かはらのむしまる）	一三
河辺朝臣東人（かわべのあそみあずまひと）	一四
河辺宮人（かわべのみやひと）	一四
河村王（かわむらのおおきみ）	一四
緩（かん）	一四
元興寺僧（がんこうじのほうし）	一四
元仁（がんにん）	一四

き

鬼谷先生（きこくせんせい）	一四
私部石嶋（ささきべのいそしま）	一四
木梨輕皇子（きなしのかるのみこ）	一四
絹（きぬ）	一四
紀朝臣飯麻呂（きのあそみいまる）	一四
紀朝臣男梶（きのあそみおかじ）	一四
紀朝臣鹿人（きのあそみかひと）	一四

紀朝臣清人（きのあそみきよひと）	一四
紀朝臣豊河（きのあそみとよかわ）	一四
紀少鹿（きのおじか）	一四
紀皇女（きのひめみこ）	一四
紀卿（きのまへつきみ）	一四
吉備津采女（きびつのうねめ）	一四
魏文（ぎぶん）	一四
喬（きょう）	一四
日下部使主三（くさかべのおみなか）	一四
日下部使主三（くさかべのおみなかのちち）	一四
草嬢（くさのおとめ）	一四
久米朝臣繼麻呂（くめのあそみつぎまる）	一四
久米朝臣広繩（くめのあそみひろなわ）	一四
久米女郎（くめのいらつめ）	一四
久米女王（くめのおおきみ）	一四
久米禪師（くめのぜんじ）	一四
久米能若子（くめのわくご）	一四
桜作村主益人（くらつくりのすぐりますひと）	一四
内蔵忌寸繩麻呂（くらのいみなわまる）	一四
椋椅部荒蟲（くらはしべのあらむし）	一四
倉橋部女王（くらはしべのおおきみ）	一四

椋椅部弟女（くらはしべのおとめ）……………一五
 椋椅部刀自亮（くらはしべのとじめ）……………一五
 車持朝臣千年（くるまもちのあそみちとせ）……………一五
 車持氏娘子（くるまもちのうじのおとめ）……………一五

け

景公（けいこう）……………一五
 玄勝（げんしょう）……………一五
 元正天皇（げんしょうてんのう）……………一五
 元明天皇（げんめいてんのう）……………一五

こ

皇極天皇（こうぎょくてんのう）……………一五
 孝謙天皇（こうけんでんのう）……………一五
 孔子（こうし）……………一五
 光明皇后（こうみょうこうごう）……………一五
 古歌集（こかしゅう）……………一五
 碁師（ごし）……………一五
 児島（こじま）……………一五
 巨勢朝臣宿奈麻呂（こせのあそみなすくなまろ）……………一五
 巨勢朝臣豊人（こせのあそみとよひと）……………一五
 巨勢朝臣奈氏麻呂（こせのあそみなでまろ）……………一五
 巨勢郎女（こせのいらつめ）……………一五

さ

巨勢斐太朝臣（こせのひだのあそみ）……………一六
 巨勢人卿（こせのひとのまへつきみ）……………一六
 巨曾倍朝臣対馬（こそべのあそみつしま）……………一六
 琴娘子（ことのおとめ）……………一六
 碁檀越（このだにおち）……………一六
 碁檀越妻（このだにおちのつま）……………一六
 子部王（こべのおおきみ）……………一六
 児部女王（こべのおおきみ）……………一六
 高麗朝臣福信（こまのあそみふくしん）……………一六
 佐為王（さいのおおきみ）……………一六
 佐為王婢（さいのおおきみのまかたち）……………一六
 佐伯宿禰赤麻呂（さえきのすくねあかまろ）……………一六
 佐伯宿禰東人（さえきのすくねあずまひと）……………一六
 佐伯宿禰東人妻（さえきのすくねあずまひとのつま）……………一六
 境部王（さかいべのおおきみ）……………一六
 境部宿禰老麻呂（さかいべのすくねおゆまろ）……………一六
 坂田部首麻呂（さかたべのおびとまろ）……………一六
 尺度氏（さかとうじ）……………一六
 坂門人足（さかとのひとたり）……………一六
 坂上家二嬢（さかのうえのいえのおといらつめ）……………一六

坂上忌寸人長（さかのうえのいみきひとおさ）……………	七〇
酒人女王（さかひとのおおきみ）……………	七二
坂本朝臣人上（さかもとのおそみひとがみ）……………	七二
前采女（さきのうねめ）……………	七三
防人歌（さきもりのうた）……………	七三
桜児（さくらこ）……………	七三
佐佐貴山君（ささきのやまのきみ）……………	七三
雀部広島（ささきべのひろしま）……………	七三
薛妙観（さつのみょうかん）……………	七三
佐氏子首（さのうじのこびと）……………	七三
狭野茅上娘子（さののちがみのおとめ）……………	七三
左夫流児（さぶるこ）……………	七三
沙彌（さみ）……………	七三
沙彌尼等（さみにら）……………	七三
沙彌女王（さみのおおきみ）……………	七三
左和多里の手児（さわたりのてこ）……………	七三
シ	
慈（じ）……………	七三
志斐姫（しいのおみな）……………	七三
椎野連長年（しいのむらじながとし）……………	七三
志賀皇神（しかのすめかみ）……………	七三
志賀津の子（しがつのこ）……………	七三

志貴皇子（しきのみこ）……………	八四
持統天皇（じとうてんのう）……………	八六
倭文部可良麻呂（しとりべのからまろ）……………	八六
信濃国防人部領使（しなののくにのさきもりこと りづかい）……………	八六
志氏大道（しのうじのおおみち）……………	八六
小竹田丁子（しのだおとこ）……………	八六
島足（しまたり）……………	八六
島津（しまつ）……………	八六
島村大夫（しまむらのまへつきみ）……………	八六
釈迦能仁（しゃかのうにん）……………	八六
周（しゅう）……………	八六
松（しょう）……………	八六
淳仁天皇（じゆんにんてんのう）……………	八六
聖德太子（しょうとこのみこ）……………	八六
小弁（しょうべん）……………	八六
聖武天皇（しょうむてんのう）……………	八六
徐玄方（じょげんぽう）……………	八六
徐玄方之女（じょげんぽうのむすめ）……………	八六
舒明天皇（じよめいてんのう）……………	八六
任微君（じんちやうくん）……………	八六
神農（しんのう）……………	八六

す

推古天皇(すいこてんのう)……………	一九
周准珠名娘子(すえのたまなのおとめ)……………	二〇
少彦名(すくなひこな)……………	二〇
清江娘子(すみのえのおとめ)……………	二〇
駿河采女(するがのうねめ)……………	二二

せ

清見(せいけん)……………	二二
消奈行文大夫(せなのぎょうもんのまえつきみ)……………	二二

そ

曾子(そうし)……………	二三
衣通王(そとおしのおおきみ)……………	二三
園臣生羽(そののおみいくは)……………	二三
園臣生羽女(そののおみいくはのむすめ)……………	二三
某(それがし)……………	二三

た

泰初(たいしよ)……………	二三
大唐大使卿(だいとうたいしきょう)……………	二三
高丘連河内(たかおかのみらじかわち)……………	二三

高田女王(たかだのおおきみ)……………	二四
田形皇女(たがたのひめみこ)……………	二四
高氏海人(たかのうじのあま)……………	二四
高氏老(たかのうじのおゆ)……………	二四
高氏義通(たかのうじのぎつう)……………	二五
高橋朝臣(たかはしのおそみ)……………	二五
高橋朝臣国足(たかはしのおそみにたり)……………	二五
高橋連虫麻呂(たかはしのむらじむしまろ)……………	二五
高橋朝臣安麻呂(たかはしのおそみやすまろ)……………	二二
高宮王(たかみやのおおきみ)……………	二二
高安大島(たかやすのおおしま)……………	二二
高安倉人種麻呂(たかやすのくらひとたねまろ)……………	二二
多紀皇女(たきのひめみこ)……………	二二
当麻真人麻呂(たぎまのまひとまろ)……………	二三
当麻真人麻呂妻(たぎまのまひとまろのつま)……………	二三
田口朝臣馬長(たぐちのおそみうまおさ)……………	二三
田口朝臣大戸(たぐちのおそみおおと)……………	二三
田口朝臣家守(たぐちのおそみやかもり)……………	二三
田口広麻呂(たぐちのひろまろ)……………	二三
田口益人(たぐちのますひと)……………	二三
高市皇子(たけちのみこ)……………	二四
高市連黒人(たけちのみらじくろひと)……………	二五
高市黒人妻(たけちのくろひとのめへつま)……………	二九